

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2025年5月14日	
群馬県知事 様	
提出者 〒370-0523 住 所 群馬県邑楽郡大泉町大字吉田1222番地 氏 名 味の素冷凍食品株式会社 関東工場 執行役員 関東工場長 鯉沼 稔 電話番号 0276-62-5181	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	味の素冷凍食品株式会社 関東工場
事業場の所在地	群馬県邑楽郡大泉町大字吉田1222番地
計画期間	2025年4月～2026年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	冷凍調理食品の製造
②事業の規模	300億円
③従業員数	約980名(パート社員、派遣社員含む)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>産業廃棄物処理工程図</div> <div><div>発生源</div><div>廃棄物</div><div>処理・処分</div></div> <div><div>冷凍調理食品製造工程</div><div>動植物性残さ</div><div>廃油(鉱物油)</div><div>排水処理</div><div>包装資材等</div><div>廃プラスチック類</div><div>中間処理施設</div><div>中間処理施設</div><div>汚泥</div><div>中間処理施設</div><div>肥料・飼料化</div><div>燃料</div><div>肥料化</div><div>燃料</div></div> <div>処理委託部分</div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

関東工場長(統括責任者)

環境事務局

環境会議

品質管理グループ

品質管理グループ長

総務部

総務部長

総務・リスク管理グループ長

製造部

製造部長

製造グループ長

生産管理部

生産管理部長

製造技術グループ長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（2024年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類				
排 出 量	1152.1 t	742.5 t	364.2 t	t	t	t	t

(これまでに実施した取組)

・有価売却化率向上の取り組み

・中間品やライン拭き取り箇所強化による衛生トラブル防止

・残渣への水混入防止対策強化

・原料ビニール類の脱水による廃プラ軽量化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類				
排 出 量	1578 t	1017 t	499 t	t	t	t	t

(今後実施する予定の取組)

・生産量予算143%に対し廃棄量は昨対137%に抑える目標値

・排水処理施設の薬剤変更による汚泥削減

・植物油混合液の排水削減による汚泥減容化

・動植物性残渣の有価物への転用

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・有価化可能な項目について分別回収

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・詳細な分別を実施し有価化をアップする

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度（ 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t	t	t	
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度（ 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t	t	t	
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t	t	t	
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（ 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（2024年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類			
	全 処 理 委 託 量	1152.1 t	742.5 t	364.2 t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1152.1 t	742.5 t	270.4 t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t	93.8 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)						
	・動植物性残さ、汚泥について全て再生利用業者へ処理を依頼 ・廃プラスチックについては、大半を再生利用業者へ処理を依頼						

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類		
	全 処 理 委 託 量	1578 t	1017 t	499 t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	374 t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	125 t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者との取引継続 ・廃プラの再生利用業者への処理委託強化					
※事務処理欄						